



第41号  
国立市東1-1-19-302  
山口康雄 574-5581  
印刷: ジャノメサービス

# 就任挨拶

支部長 山口康雄



私は、去る六月十七日第三十回国立支部総会において、支部長に選出され就任しました。支部会員の皆様のご支援をいただき、誠意をもって支部の運営に携わっていききたいと思っております。私は国立支部に入会して二十年ほどになります。そして丸本、堀田、風間等、諸先輩のご指導により会務に参加してまいりましたが、白門会会務をみずから率先して運営してきたという記憶はありません。しかし、毎年五回位の行事には出席してまいりました。卒業生であれば、大学のニュースには耳をそばだて、初対面でもすぐに打ち解け、運動部の活躍には心おどらせ、しばし青春時代に若返ります。

同窓会はメリットを求めるところではなく、青春時代に同じ学び舎で過ごした証を、同じ国立市という地域に生活している仲間が確かめ合い、若い時代に戻れる会だと考えています。そのような事を考えると折角のチャンスなので、多くの友に集まってほしいのです。先輩たちの応援をいただきたいながら、なんとか任期を全うできたらと考えています。さいわい幹事長を行動力のある石井孝さん

にお願ひしました。多くの先輩からの助言とご指導を得て、また多くの会員諸氏からのご協力とご援助を得て、支部活動が行なわれるよう頑張りたいと思ひます。同窓生がお互いに声かけあつて行事に参加し、楽しいときを過ごせる機会を多く持つことに、学会会の存在する意味があると考えますので、是非、行事には参加してください。会員の拡大

前任の堀田さんから二百名位の会員名簿を引き継ぎました。

名前をみても顔がわかる会員は二十%にもなりません。任期中に全部の会員に会えたら素晴らしいなあと思つています。そして現在七十名の会費納入者が百名になつて、行事の度に五十名も集まつてもらえたら、こんなうれいしいことはない、数ある学会会の中でも優秀な会になると思ひます。これは夢かもしれませんが、役員一同で頑張つてみたいです。

## 幹事長に就任して

石井孝

本年六月の総会で幹事長に就任いたしました。昭和三十九年商学部を卒業しサラリーマン生活三十七年を終えて国立に在任しております。創立三十周年を迎えようとしている国立白門会は、多くの先輩の方々の愛校心と地域での活発な活動に心から敬意を表したいと思ひます。さらに地域に密着した活動を進めていくには、活動の企画・運営の先頭に立つて進めていくことが、幹事長の責務だと痛感しております。すでに活動計画にはすばらしい企画があります。会員相互の親睦、また母校発展のために、みなさんにご参加頂く事を願つております。皆様のご支援、協力をお願いし申上げます。

## 退任のご挨拶

前支部長 堀田 勲

退任に際し、ひとこと、ご挨拶申し上げます。去る六月十七日開催の支部総会におきまして、三期六年間つとめさせていただきました学員会国立支部長を退任いたしました。在任中は格別なるご支援、ご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

後任支部長には山口康雄氏、また、幹事長に石井孝氏が就任いたしました。どうぞ私同様お引き立て賜りますようお願い申し上げます。

国立支部は、はやいもので、発足以来三十年になろうとしております。その間、初代 故村田会長、次期能味会長のご指導のもと、今日では多摩地区でも存在感のある学員会支部のひとつに成長いたしました。

私はその間、地元の先輩、後輩、大学の関係者、近隣支部の皆様と親しく接することができまして感謝の気持ちでいっぱいでございます。

また、市民祭、さくらまつり、等の諸行事にお手伝いいただきました会員の奥様方にも心から御礼申し上げます。

皆さん、どうぞ、これからも国立支部を支えていただきませうようお願いいたします。

## 中央大学創立二五周年記念 募金状況 (七月末日現在)

目標金額 百億円  
申込金額 四十五億六千万円  
多摩地区募金申込状況

- 日野支部 九百 四十万円
  - 国立支部 七百四十二万円
  - 八王子支部 五百六十六万円
  - 立川支部 四百 三万円
  - 調布支部 三百六十一万円
  - 小金井支部 三百二十七万円
  - 三鷹支部 二百八十二万円
  - 小平支部 二百八十二万円
  - 府中支部 二百 七十万円
  - 多摩支部 一百 三万円
  - 町田支部 七十六万円
- ※ 募金に関するお問い合わせ 石井幹事長 572-0185

## ホームカミングデーに参加しよう

開催日 十月二十八日(日)  
場所 中央大学多摩キャンパス  
時間 十時十五分 開会式

内容  
トークショー 葛西聖司氏 (NHK 寄席 柳家小团治師匠)  
メインステージ  
スイングジャズ  
タンゴバンド  
武蔵国府太鼓演奏 (大迫力)  
応援部演技 他

当日 九時三十分 モノレール「立川南」駅改札前集合

平成十八年度 親睦旅行  
秋の甲斐路と石和温泉

国立白門会恒例の親睦旅行は、甲斐路を十分堪能し爽りの秋にふさわしい収穫の多い楽しい一泊二日のバスの旅でした。

十月十五日参加者十六人は七時半に谷保駅を出発、中央高速道を韮崎ICまで行きました。ここからは秋晴れの田舎道をゆっくりと走り「村の駅」に立ち寄り、萬休院の国天然記念物、樹齢四百五十年の「舞鶴の松」を鑑賞、白州台が原の「酒造元」を見学後は昼食。午後の甲斐武田氏発祥の地「武田八幡宮」は秋祭りの最中でした。まさに稲刈りがすんだ村では鎮守様から笛や太鼓のお囃子が聞こえ神楽を奉納していました。私たちも振舞い酒やつきたての餅をいただきながら、都会では味わえない郷愁の秋祭りを堪能しました。その後、ワイナリーに寄って石和温泉「ホテルやまなみ」に着き、夜は楽しい宴会が時間いっぱい続きました。翌日は、釈迦堂で遺跡資料やお菓子工場を見学。さらに「景德院」では武田氏終焉に思いを馳せました。昼食は、葡萄の下でバーベキュー。冷たいビールを飲みながら、賑やかなひとときでした。この後、里吉園で葡萄狩り。いっぱい食べて各人がおみやげと、楽しい思い出を胸に無事国立に帰還しました。

(重野和夫)



(上) 訪れた武田八幡宮は偶然にも秋祭り



(右) 萬休院「舞鶴の松」の前で記念撮影

納涼会

バーベキューとお酒

国立白門会恒例の納涼会を七月十六日(海の日)に昭和記念公園バーベキューガーデンにて開催した。食材と炭火バーベキューセットは会場に用意されています。

しかし会員の皆さんは、ワインやお酒を持参され、炎天下の真昼ですぐに栓が開きます。焼き方は大忙しです。ちよつと目を離すと黒こげになってしまい、大粒の汗をかきながらの奮闘です。

今回は会員の友人も参加され、談笑すること三時間、お酒もたくさんいただきました。

黒い雲ができましたので、冷たいスイカを頂いてお開きになりました。

(石井 孝)



第十三回 屋形船「むつみ丸」での

納涼親睦会

国分寺サイトージム 斉藤 寛

去る八月五日 国分寺サイトージム恒例の豪華屋形船での納涼親睦会、隅田川から東京湾を巡り、ボクシング仲間同士で飲みや歌えの大宴会は四十数名の参加を得て、盛大に開催されました。特に今回は元、日本、東洋、世界チャンプらも参加をしてくれて、大いに盛り上がり、あつという間の二時間半でした。

過去、国立白門会からの参加者は堀田ご夫妻、大寺さん、川村氏、そして平本さんです。今回は、この川村氏、平本さんがカラオケで大いに盛り上げてくれました。

国立白門会の皆さんも是非一度この屋形船での親睦会に参加してみませんか。次回は十二月、早めの忘年会を予定しております。

今回は中大関係では現ボクシング部OB会長と事務局長も参加してくれました。



乗船記念写真 中央白い帽子 斉藤会長 後方2列目右端 平本聖子さん(副幹事長) 一人おいて川村俊介氏

巡礼に出る

丸本 大

秩父三十四カ寺巡礼のお誘いを頂き、なぜか素直に参加する気持ちになった。七十才になる迄、山歩きの経験がなく、はたして同行の人について行けるか自信はなかった。

幸いに白門会の二宮さんが四国八十八カ寺巡礼の先達の資格を持っておられ、このたびラジオ体操仲間間の宮さんのスケジュールに従って、三人で巡礼することになった。

巡礼は二回に分けられ、第一回目は四日間で一番から二十四番まで、第二回目は二十五番から三十四番で満願となった。

秩父名物の山である武甲山が遠く近くに見えかくれる範囲の地域に三十四カ寺が点在していて、地図の上から見ると、秩父鉄道を中心に左右の部落や自然の丘陵の中にあり、一番の四萬部寺からスタートして、三十四番の水潜寺までの一〇五kmの道程である。



くにたちウオーキング  
十月八日(体育の日) 八時  
谷保 第三公園集合

羽衣伝説

田口正明

昨春、謡曲愛好の物語者の霊をなぐさめるため「賀茂」の一節がうたわれた。そして、つぎの伝説もうたわれた。

むかし、秦氏の娘が、京の加茂川で水をくんでいた。すると、川上より白羽の矢が流れてきた。娘は、我が家のお室にしようと、持ち帰った。

まもなくすると、娘は懐妊し男の子を生んだ。この子が三才になったとき、お前のお父さんは誰かとたずねられた。男の子は、軒にさした白羽の矢を指した。すると、白羽の矢は、鳴る雷となり、天に昇った。これが、別雷の神(わけいかずちのかみ)である。また、母とその御子も、神となった。別雷の神は五穀豊穡の雨の神さまである。葵まつりで有名な上賀茂神社にまつられている。

わたくしは、処女懐胎は、キリスト教の専売特許と思っていた。このたび、謡曲の「賀茂」をとおして、処女懐胎伝説は、わが国の宗教にもあることを学んだ。

キリスト教の処女懐胎は、新訳聖書にてでくる。マリヤは、ヨセフと婚約した。当時の婚約は、今とちがいが大変きびしかった。結婚前の純潔は、きびしく求められた。そういう時代であって、マリヤ

はヨセフと結婚するまえに、身ごもった。そして、男の子を生んだ。男の子は、イエスと名づけられた。聖霊により身ごもり、神として生まれたイエスには、明るい後光がさしていた。

一般にヒーローは普通の生まれ方をしない、といわれている。常識では考えられない、奇跡的な生まれ方をする。処女懐胎はその一例である。

神は、娘を身ごもらせた。生まれた子は、神の子として成長し、世なおしの救世主となった。

こういう処女懐胎伝説は、洋の東西を問わず各地にある。それは、神代から伝わる昔話として、現在にうけつがれている。美しい物語として有名な謡曲の「羽衣」もまた、羽衣伝説として今なお語りつたえられている。

羽衣をとられた天女が漁師の妻となり、かくしてあった羽衣を発見し天にもどる、というのが多くの羽衣伝説である。能の羽衣は美しい天女を美しいままに天に帰す、という物語にモデルチェンジされている。能らしい主張である。羽衣伝説は、国内ばかりではなく、ストーリーをかえ海外にもある。白鳥の湖は、その一例である。子供たちに聞かせる伝説は、たくさんある。

子供に聞かせるうちに、子供の世界はかぎりなくひろがる。同時に、あたたかい心も育まれる。だから伝説は、心を豊かにする民族の文化遺産といえる。

中央大学学術講演会

日時 11月18日(日)  
午後2時~4時  
会場 雅月会議室(会場変更しました)  
(くにたち公民館むかい)  
演題 思春期の子どもの教育  
講師 文学部教授  
都筑 学先生  
入場無料

中央大学学員会国立支部役員 19・06・17

顧問	市橋千鶴子	谷 清	能味寿哉	重野和夫	堀田 勲
相談役	福谷 実	藤村俊夫			
支部長	山口康雄				
副支部長	丸本 大	風間 健	小島泰義	高橋雅幸	
幹事長	石井 孝				
副幹事長	平本聖子	新倉良平			
会計	真見 敬	上田邦雄			
監査	二宮 巍	山川昌一			
理事	阿部正行	川村俊介	金子清治	北井治徳	
	沼崎末次	春日 勝			

秋の一泊旅行は秩父長瀨方面に決定

日程 10月14日(日)~15日(月)  
宿泊 民宿「すぎな」 詳細 後日ご案内  
お問い合わせ・お申し込み 石井幹事長 572-0185

ご家族、ご友人の皆様にもご案内いただき、広く市民の皆さんに母校の堅実な社会貢献の一端を知っていただく良い機会です。

## 平成18年度 国立白門会決算書

自平成18年4月1日 至平成19年3月31日

収入の部			支出の部		
科目	決算	予算	科目	決算	予算
年会費	201,000	210,000	印刷費	63,000	100,000
総会会費	145,000	150,000	総会費	134,300	250,000
寄付、祝金	32,000	0	交際費	102,500	150,000
特別収入	223,742	30,000	親睦行事費	130,985	150,000
125募金活動助成金	11,000	10,000	通信費	67,095	100,000
125寄付金受入	39,400	0	会議費	8,650	30,000
雑収入	214	0	事務用品費	62,562	30,000
前年度繰越金	797,768	797,768	雑費		10,000
			125周年寄付金	100,000	100,000
			125周年特別寄付	100,000	100,000
			周年事業積立金	100,000	100,000
			予備費	0	77,768
			次年度繰越金	581,032	
合計	1,450,124	1,197,768	合計	1,450,124	1,197,768

平成19年6月17日

会計 真見 敬 印  
 会計監事 山川 昌一 印

## 平成19年度 国立白門会予算案

自平成19年4月1日 至平成20年3月31日

収入の部			支出の部		
科目	摘要	金額	科目	摘要	金額
年会費	3000円×70名	210,000	印刷費	白門会ニュース	100,000
総会会費	5000円×30名	150,000	総会費		150,000
特別収入	さくら祭、市民祭	80,000	交際費	近隣支部総会祝金	150,000
125募金活動助成金		10,000	親睦行事費	納涼会、新年会他	150,000
前年度繰越金		581,032	通信費	会員連絡他	70,000
			会議費	役員会他	30,000
			事務用品費		30,000
			雑費		10,000
			125周年寄付金	5回分割完納	100,000
			125周年特別寄付	昨年に引続き追加	100,000
			周年事業積立金支出	H20年創立30周年	100,000
			予備費		41,032
合計		1,031,032	合計		1,031,032

平成18年度活動報告 18・4・1～19・3・31		平成19年度活動計画案 19・4・1～20・3・31	
* 4 / 2 (日)	「さくらフェスティバル」に参加	* 4 / 1 (日)	「さくらフェスティバル」に参加
* 6 / 7 (水)	ゴルフコンペ(花咲カントリー)	* 6 / 17 (日)	第30回定時総会
* 6 / 11 (日)	第29回定時総会	* 7 / 16 (月)	(海の日)納涼会
* 7 / 17 (月)	(海の日)納涼会(多摩川)	* 9 / 16 (日)	囲碁会
* 10 / 9 (月)	(体育の日)くにたちウオーキング	* 10 / 8 (月)	(体育の日)くにたちウオーキング
* 10 / 14 (土)	クリーン多摩川20周年記念式典出席	* 10 / 14 (日)	一泊旅行(秩父長瀨方面)
* 10 / 15 (日)	一泊旅行(石和温泉・ブドー狩り)		15 (月) "
* 10 / 22 (日)	ホームカミングデー(多摩キャンパス)	* 10 / 28 (日)	中大ホームカミングデー
* 11 / 5 (日)	「くにたち市民まつり」に参加	* 10 / 未定	ゴルフコンペ
* 11 / 6 (月)	三多摩連協ゴルフコンペ	* 11 / 4 (日)	「くにたち市民まつり」に参加
* 11 / 12 (日)	中央大学学術講演会(公民館) (女系天皇論を考える)	* 11 / 18 (日)	中央大学学術講演会(雅月) (思春期の子どもの教育)
* 11 / 19 (日)	秋のクリーン多摩川	* 11 / 18 (日)	秋のクリーン多摩川
* 1 / 28 (日)	新年会(雅月)	* 1 / 27 (日)	新年会
* 3 / 18 (日)	春のクリーン多摩川	* 3 / 16 (日)	春のクリーン多摩川
7 / 18 (日)	白門会ニュース40号発行	9 / 15 (土)	白門会ニュース41号発行